

寄り道して見つける千葉の魅力

道で発見!

ちば



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-9号



今回の道

国道51号

千葉市から香取市までの
約53kmを紹介!

第21回

国道

51

ROUTE

愛称：佐倉街道・成田街道・佐原街道



とよみ
国道51号「十余三トンネル」手前付近

〈背景〉香取市「水郷佐原あやめパーク」



▲「国道51号」下り、成田市「寺台インター交差点」付近

千葉市の広小路交差点から香取市の水郷大橋南交差点まで、約53kmを走る。

国道51号は、千葉市から茨城県水戸市まで続く延長約132kmの一般国道。今回紹介するのは千葉県内を走る部分で、東関東自動車道とほぼ並走ルートにあり、昔から重要な役割を担ってきた幹線道路の一つです。

国道51号の千葉市から香取市間についての歴史は古く、遠く江戸時代までさかのぼります。千葉市～佐倉市間は、房総最大の城下町佐倉と千葉を結んでいたため「佐倉道」と称し、主に佐倉藩の年貢米を千葉の寒川港を経由して江戸へ送る重要な街道でした。佐倉市～香取市間は、「佐倉道」が江戸からの成田参詣で賑わっていた「成田街道」と「酒々井宿（現在の酒々井町）」付近で合流し、成田山新勝寺を目指します。「寺台宿（現在の成田市寺台）」が終点だった「成田街道」は、やがて「香取街道」に繋がり佐原方面へと進みます。今回紹介するコースは、上記と同様のルートを進る約53kmのドライブとなります。

今回のコースで最も印象深い場所は、巨大な飛行機が突然前方の視界に現れた、「十余三トンネル」手前付近。「十余三トンネル」の上は成田空港B滑走路なので、運が良ければ車窓から飛行機の巨大機体が眺められます。ここから先は、ささぎるものがない広い街道を行き、香取市の国道356号を立体交差で渡ればゴールの「水郷大橋南交差点」に到着です。



スタート地点にある国道51号「起点」の距離標



▲スタートの「広小路交差点」付近

3つの愛称名[※]がある国道51号。

千葉県では、開発の拠点や観光地と結びつく幹線道路に親しんでもらおうと「千葉県道路愛称制定委員会」が組織され、国道51号は1987年から1988年までに3つの愛称名が付けられました。千葉市の広小路交差点から佐倉市の海隣寺交差点付近までが「佐倉街道」、成田市の寺台インター交差点付近までが「成田街道」、そして、香取市の水郷大橋南交差点付近までが「佐原街道」という愛称名で呼ばれています。

※道路の「愛称名」は、江戸時代の街道名とは異なります。

※「愛称名」が国道から、一部県道等に移動している箇所もあります。



▲千葉市内にある「佐倉街道」の名称が表記されている道路標識



「水郷大橋」で利根川を渡った先にも千葉県域、実は続いている。

今回のゴールは、国道51号が利根川を渡る手前の「水郷大橋南交差点」ですが、利根川を渡った先にも千葉県があるのをご存知ですか。実は、千葉県と茨城県は、水郷大橋で利根川を渡った後、国道51号と平行して流れる横利根川が県境（上図参照）です。県境の北限は、霞ヶ浦に注ぐ常陸利根川と横利根川が合流する部分で、県境はそのまま常陸利根川の流れと共にゆるやかに南下し、利根川と合流する香取市小見川まで続きます。



▲ゴールの「水郷大橋南交差点」付近

路線唯一の「十余三トンネル」



千葉県内の国道51号で、ただ1つのトンネルは、成田国際空港B滑走路下をくぐる「十余三トンネル」です。428.8mの長さで2008年（平成20年）に開通。上下線ともにゆとりある歩道が設けられています。

Special Spot



航空機展望スポット「十余三東雲の丘」

十余三トンネル手前の左側にある、成田空港B滑走路西側に面した場所で、防音壁の高台から、迫ってくるように離着陸する各国の飛行機が眺められます。



東雲の丘から見える、空港の夜景

● 加曽利貝塚博物館



日本全国には約2,400か所以上の貝塚が知られていますが、そのうちの約700か所が千葉県で発見されているというほど千葉県は貝塚の宝庫。中でも、千葉市内にある史跡加曽利貝塚は、長さ340mの8字形をした貝塚が約15万㎡の緑地の中に保存されています。史跡内には、加曽利貝塚で発見された縄文土器や石器のほか、貝や動物の骨で作られた道具や人骨などを展示し、縄文時代の人々の生活を解説する博物館があります。

※くわしくはWebサイトをご覧ください。

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/bunkazai/kasorikaizuka/top.html>

- 開館時間 / 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日・祝日の場合開館し、その翌平日・年末・年始(12月29日から1月3日)
- 観覧料 / 無料

●所在地 / 加曽利貝塚博物館
千葉市若葉区桜木8-33-1
TEL.043-231-0129



▲南貝塚の貝層断面観覧施設

● DIC川村記念美術館



緑豊かな北総台地の自然に恵まれた約3万坪の庭園内にある美術館。17世紀のレンブラントから、モネ、ルノワールなどの印象派、ピカソやシャガールなどの西洋近代美術、ポロック、ロスコなどの20世紀アメリカ美術まで、選りすぐりのコレクションを有する美術館として広く知られています。コレクション作品の展示は、年に数回入れ替わるほか、展覧会も開催。四季折々の変化が楽しめる庭園は、散策にぴったりです。

- 開館時間 / 9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日※祝日の場合は開館し、翌平日に休館
年末年始、展示替期間の臨時休館
- 入館料 / ご来館時の展示内容によって変わります。
- 入園料 / 大学生以上200円
(庭園)(美術館へご入館の方は無料)

※くわしくはWebサイトをご覧ください。

<http://kawamura-museum.dic.co.jp/>

●所在地 / DIC川村記念美術館
佐倉市坂戸631
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)



▲7月上旬~中旬が見頃の「山百合」

● 国立歴史民俗博物館



▲第3展示室 / 江戸橋広小路模型



▲第5展示室 / 浅草映画街再現

- 開館時間 / 9:30~17:00(3月~9月) 9:30~16:30(10月~2月)

※入館は閉館の30分前まで

- 休館日 / 月曜日※祝日にあたるときは翌日が休館日、8月14日は開館
年末年始(12月27日から1月4日まで)

- 入館料 / 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下 無料

※くわしくはWebサイトをご覧ください。 <http://www.rekihaku.ac.jp>

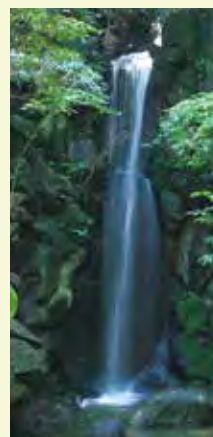
● 成田山公園

成田山大本堂裏の丘陵地に造園した16万5000㎡の大庭園。周遊するには、噴水のある西洋庭園から三重塔に抜ける散策コースがお薦め。園内には、栃木県塩原にある「雄飛の滝」を模した高さ約20m、幅2.7mの人口の滝があります。また、菩薩の名を付けた文珠の池、龍樹の池、そして龍智の池の3池があり、龍智の池の上には趣きある浮御堂が建っています。また、園内には高さ13.3mの原拓「紀泰山銘之碑」がある書道美術館(有料)もあります。

- 入園料 / 無料 ●駐車場 / 有料

※くわしくはWebサイトをご覧ください。

<https://daihonnzann-naritasann.jimdo.com/成田山公園/>



▲雄飛の滝(雄滝)



▲龍智の池と浮御堂(右側)

成田市
観光キャラクター



うなりくん
©成田市 2009

●所在地 / 成田山新勝寺
成田市成田 1
TEL.0476-22-2111

● 水郷佐原あやめパーク



▲舟に乗りながら水面に浮かぶハスを間近に見ることができす

●所在地 / 水郷佐原あやめパーク
香取市扇島1837-2 TEL.0478-56-0411

水郷筑波国定公園内にある観光レクリエーション施設で、施設内で栽培しているハスの品種は300種類以上で日本一の規模を誇っています。また、アヤメ科のハナショウブも400品種150万本が植えられていて、6月の花の時期には、あやめ祭りが行われます。千弁蓮をはじめとする優雅なハスの開花を愛でる「ハス祭り」は、7月8日(土)から8月6日(日)まで。



▲満開のハスの花

《はす祭り》

- 開催期間 / 2017年7月8日(土)~8月6日(日)
- 開園時間 / 7:00~15:00(入園は、閉園1時間前頃まで)
- 休園日 / はす祭り期間中は無休(通常:毎週月曜日)
- 入園料 / 大人600円、65歳以上500円、小・中学生300円
- 駐車場 / 無料

※くわしくはWebサイトをご覧ください。

<http://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/ayamepark/index.html>

房総の祭り 佐原の大祭 夏祭り

その3

◆開催予定／平成29年7月14日(金)～16日(日)

〔佐原の山車行事〕ユネスコ無形文化遺産登録!

山車に飾る人形の大きさが日本一を誇る佐原の大祭は、国指定重要無形民俗文化財ですが、さらに2016年(平成28年)佐原の山車行事を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産にも登録されました。

日本一の大人形と実物の山車を展示!

◆水郷佐原山車会館

八坂神社の境内にある「水郷佐原山車会館」は、いつでも祭りの熱気と興奮をリアルに体験できる殿堂。1階ビデオシアターでは、3面パノラマ画面で佐原の大祭の迫力ある映像を鑑賞できるほか、祭りで実際に曳き廻される絢爛豪華な山車が順番で常時2台展示されています。2階展示室では、祭りに欠かせない佐原囃子の楽器や、歴代の名工・彫刻師が手がけた山車彫刻を間近で観られます。また、3階企画展示室では、佐原の大祭のシンボル・日本一の大人形が魂が宿ったような存在感で来場者を迎えてくれます。



▲1階／山車展示室



▲2階／展望展示室



▲3階／展示室



▲3階／「日本一の大人形」が展示されている企画展示室

- 開館時間／9:00～16:30
※16:00ごろまでに入館してください。
※7月の「佐原の大祭夏祭り」期間中のみ20:30まで開館しています。
- 休日／月曜日(国民の祝日は開館)・年末年始
※あやめ祭り期間中は無休で開館しています。
- 入館料／大人400円、小・中学生200円
- 問い合わせ／水郷佐原山車会館
香取市佐原イ3368(八坂神社境内)
TEL.0478-52-4104



江戸時代から利根川の舟運で栄えてきた佐原(香取市)は、江戸の華やかな文化を取り入れた「江戸優り」と呼ばれる独自の文化を育んできたまち。その文化の集大成として生まれたものが「佐原の大祭」です。関東三大山車祭りとして300年以上もの歴史があるこの祭りの特徴は、巧みな彫刻を施された山車と、その上に取り付けられた日本一を誇る大きな飾り物にあります。また、この大祭は、7月に開催される八坂神社祇園祭(夏祭り)と10月に行われる諏訪神社秋祭りの2つの総称となっています。さて、この時期の佐原は、7月14日から16日に予定されている夏祭りの準備が着々と進められています。趣きのある古い町並みが残る佐原の中心部、小野川の東側の本宿地区の下仲町、上仲町、荒久、本



川岸、八日市場、浜宿、寺宿、田宿、仁井宿、船戸の10の各町内から絢爛豪華な10台の山車が練り出されます。伝統の佐原囃子と共に練り広げられる山車のダイナミックな曲曳きも見せ場です。

《道で発見!ちば》今月の誌上クイズ!

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「道で発見!ちば」の第21回をご覧ください。

今回、国道51号の起点として紹介した千葉市にある「広小路交差点」は、二つの国道の終点でもあります。さて、それは国道14号と、県内を走るもう一つの国道名は? (本シリーズパート1/第1回参照)
次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 国道126号
- ② 国道127号
- ③ 国道128号

取材協力・写真提供・撮影協力／国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 千葉県 県土整備部道路環境課 加曾利貝塚博物館 DIC/川村記念美術館 国立歴史民俗博物館 成田山新勝寺 水郷佐原あやめパーク 水郷佐原山車会館

2017.6(次回発行)／2017年7月20日



ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌 検索



正解は→③ 国道128号